平成22年度　決算説明書／事務事業評価シート

部局名	企画部
課室名	企画調整課

予算	款	項	目	決算書	
	2	1	7	70	頁

目　　名
企画費

事務事業名称
公共交通事業

１．概要

目的	豊後大野市における公共交通手段の確保	対象	市民

事業概要

〇バス路線運行補助事業・・・市民の生活交通路線の維持のために路線バスの運行に係る損益分に対してバス会社に補助を行う。
［対象：大野竹田バス］

〇コミュニティバス運行事業・・・コミュニティバスの運行
①清川町５、②緒方町７、③朝地町５、④大野町６

〇公共交通活性化再生総合事業・・・法律に基づく協議会を設置し、地域公共交通総合連携計画の策定、変更及び計画の実施に係る調整を行っている。
①地域公共交通総合連携計画の策定②地域公共交通活性化会議の開催

〇公共交通実証運行事業・・・病院の統合により、犬飼駅から三重病院を経由し、公立おがた総合病院に至る路線を試験的に路線バスの運行を実施。
［対象：大野竹田バス］

臨／経	事　業　名	事業内容（主な経費等）		予算現額（千円）	決算額（千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	バス路線運行補助事業	16路線分	負担金補助及び交付金	32,836	32,836	7,597	22,800		2,439	3
経常	コミュニティバス運行事業	①5路線、②7路線、③5路線、④6路線	委託料	28,255	27,797	6,905	14,200	5,832	860	3
経常	公共交通活性化再生総合事業	地域公共交通活性化会議（1回）	負担金補助及び交付金	1,000	960				960	3
臨時	公共交通実証運行事業	犬飼駅ー市民病院線	負担金補助及び交付金	4,500	4,500				4,500	1
計				66,591	66,093	14,502	37,000	5,832	8,759	

２．指標設定

成果指標	指標名	利用者満足度	目標年度	H27	指標の設定理由
	数値	80%			総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-1)の重点施策としているため

活動指標	指標	a	コミュニティバスの利用者	b	補助路線バスの利用者	c		d	
	数値	目標	80%	目標	80%	目標		目標	

３．実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２
利用者満足度				
		－	－	－

活動指標名		単位	Ｈ２０	Ｈ２１	Ｈ２２
a	コミュニティバスの利用者		－	－	－
b	補助路線バスの利用者		－	－	－
c					
d					

４．課題と対応

課題
市内における均衡ある効率的な運行
対応（改善点等）
豊後大野市地域公共交通総合連携計画に基づく実証運行を実施

５．事業費・・・Ｈ２０～Ｈ２２（決算額）、Ｈ２３（予算現額）

決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		40,303	50,511	66,093	120,257
	うち経常経費	40,303	50,511	61,593	133,254
財源内訳	国費				
	県費	8,164	3,947	14,502	15,633
	市債			37,000	87,200
	その他	8,530	8,338	5,832	12,700
	一般財源	23,609	38,226	8,759	4,724
	うち経常	23,609	38,226	4,259	4,724
事業費に係る人件費		7,684	8,149	9,635	9,460

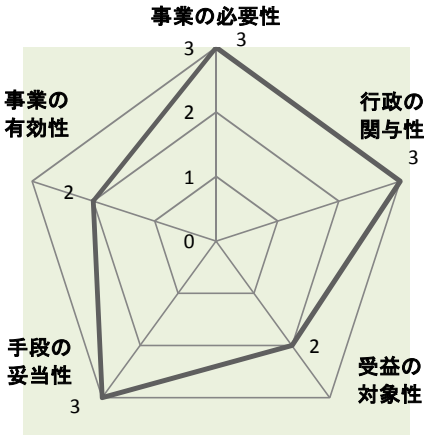
６．H24年度予算の方向性

方向性
増額
理由
実証運行に伴う見直しなど、予算の増額が見込まれる

７．担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	地域の公共交通手段の確保として必要不可欠である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	道路運送法により地方自治体が主宰者となり、地域の公共交通の合意形成を図らなければならない
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2	地域内の効率的な運行を目的に、幹線、枝線の視点で路線を設定している
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	H23年度より、見直しを行った新たなシステムで実証運行を試みる

分析グラフ



８．内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	利用状況を常に把握し、地域のニーズに合うように見直しを図ること